

# 外国語科「コミュニケーション英語Ⅲ」授業実践紹介

授業者：小賀 良子

学 年：3年

単元名：「Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?」

単元のねらい（7つのチカラ：③考える力 ④行動する力 ⑤チームワーク力）

- ① 携帯電話リサイクルプログラムというテーマを通して、自分たちにもできるリサイクル、希少資源であるレアメタルやアフリカのローランドゴリラについて調べて、発表することができる。
- ② グループでセクションごとの和訳や文法事項や①で調べたことを、他者に分かりやすいように説明することができる。

単元の流れとパフォーマンス課題（パフォーマンス課題は②と③）

- ① グループ内で、セクションごとの和訳や文法事項を調べる。また、携帯電話リサイクルやレアメタル、ローランドゴリラについて調べる。（2時間）
- ② グループでパワーポイントを作る。英文・和訳・自分たちが調べたことをセクションごとの目標を入れる。（2時間）



- ③ グループで自分たちの作ったパワーポイントを使って、みんなの前で授業する。（5時間）



## パフォーマンス課題とその評価

「Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?」の内容をグループで協力し、説明することができる。

- ① 携帯電話リサイクルプログラムというテーマを通して、自分たちにもできるリサイクルや希少資源であるレアメタルやアフリカのローランドゴリラについて調べて発表することができる。
- ② グループでセクションごとの和訳や文法事項や①で調べたことを、他者に分かりやすいように説明することができる。

	声	目線・態度	創意・工夫
<b>A (5点)</b>	相手に分かりやすいように間や抑揚に気をつけながら、はっきりと大きな声で説明している。	①聞き手と目を合わせながら、グループの人と協力して説明できる。 ②紙を見ずに、説明ができています。	①作られているスライドが見やすい。 ②セクションに関係あるプラスαなスライドが入れられている。
<b>B (3点)</b>	部分的に間や抑揚に気を付けたが、所々聞こえずらく分かりにくかった。	①or②	①or②
<b>C (1点)</b>	聞き取りにくく、説明が分からなかった。	①も②どちらもできていない。	①も②どちらもできていない。

## 単元を通して身につけてほしいこと

自分で和訳したり、分からないことを調べるにもどうすればいいのかということをよく聞きます。自分たちが苦手なところを発見して調べ克服することができることを、このグループで授業をすることを通して理解してもらいたいです。

## 実践の背景

- 英文を和訳する上で、文法事項は大切です。毎回の授業の中で、教師が教えたことをノートにとるといった授業では、生徒自身がどの文法事項が苦手なのか、どこが理解できていないのかを把握することは難しいです。
- そこで、グループでセクションごとに和訳をさせ、そこに出てくる文法事項やフレーズや文の構成がどのようになっているか、またグループでそれぞれの内容で疑問に思ったことや関連することを他の人に分かりやすく説明できるように、グループで協力させればできるのではと思い実践を行いました。

## 授業改善のアプローチ

- まず、今までは教師が教えたことについてノートに取らせていくといった授業を行ってきましたが、本文中に出てくる既習文法事項や和訳や文の構成についてあまり理解していないのではないかと思うようになりました。そこで、グループの中でこの単元を通して、内容を理解し、文の構成や自分の苦手ところを自覚し、お互いに協力して教え合うことでより理解が深まると考えています。
- また、グループの中で教えあい理解できた内容であれば、生徒一人ひとりがスモールティーチャーになり、前にでて自信をもって他の人に分かりやすく説明することができると考えています。

## 生徒の変容

最初は、生徒自身で文の構成や文法事項など細かな説明までなかなか難しいと思っていたけれど、今まではなんとなく聞き流していたことや自分があまり理解できていなかった文法事項を理解することができました。和訳をする上で、既習してきた文法事項や構文などが大切であるということ、分からないときにはどのように調べ学習していけばいいのかということも分かりました。自信をもってみんなの前で説明するということは、いろいろな準備が必要なことも分かったので、予習や復習もしていかなければならないと思いました。(生徒の Evaluation Sheet より抜粋)

## 評価

以下の基準で、今学期の評価とした。

- ① パフォーマンス課題、Evaluation Sheet に対する評価 (40%)
- ② 定期考査による評価 (60%)

観点	Excellent (5点)	Good (3点)	Do your best (1点)
(A) Cooperation (協力)	パワポや授業内容をグループ全員で考え、協力し合い、自分の役割を果たすことができた。	グループ協力を概ねでき、自分の役割を概ね果たすことができた。	グループの人と協力はできず、自分の役割も果たせず、グループの他のメンバーにやらせてしまった。
(B) Performance	授業の原稿を見ずに、パワポにあわせて説明することができた。	授業の原稿を時々見たり、パワポに少し合わない説明の部分があった。	授業の原稿をプレゼン中ずっと見ており、パワポにあわせて説明をすることができなかった。
(C) Q & A	他のグループのプレゼンを聞いて、その場で適切な Question をすることができた。また、自分たちのプレゼンへの Question に適切に答えることができた。	他のグループのプレゼンを聞いて、その場で概ね適切な Question をすることができた。また、自分たちのプレゼンへの Question に概ね適切に答えることができた。	他のグループのプレゼンを聞いて、その場で適切な Question をすることができなかった。また、自分たちのプレゼンへの Question に適切に答えることができなかった。

